

平成27年9月定例教育委員会 会議録

- 1 開催期日 平成27年9月25日(金)
開会 午前 9時57分
閉会 午前11時35分
- 2 開催場所 役場 2階 会議室
- 3 出席者名 委員長 諸 橋 志津子
委員 不二井 悟 史
委員 宮 下 静 子
委員 原 田 光 雄
委員(教育長) 布 施 東 雄
- 局長 岡 本 伊佐夫
次 長 宮 本 浩 司
次 長 荒 木 秀 人
係 長 朝 倉 恵 子

4 議 件

- 議案第11号 障害のため教育上特別の支援を要する者について
報告第37号 平成27年度穴水町奨学生の選考について
協議第10号 区域外就学について

5 議事の経過について

事務局の進行により、前会議録の承認を得た後、教育長から9月議会についての報告、各学校の運動会についての報告、中学生議会についての報告、石川県学力向上フォーラム及び奥能登タウンミーティングについての報告があり、会議録署名員に宮下委員及び布施教育長を指名し、承認されました。

審議に入り、議案第11号及び報告第37号、協議第10号について説明があり、質疑応答が行われ、了承及び承認、決定されました。

次に、10月の定例教育委員会の開催期日を10月28日(水)午後2時と決め、閉会しました。

* 主な質疑・応答等について

9月 定例教育委員会議事録

－ 委員長挨拶 －

急に秋らしくなり、彼岸花も一気に咲きはじめたように思います。同時に学校の方も、行事を中心として本格的な指導が始まっているかと思えます。

学校に関わる動きにも目まぐるしいものがあり、9月16日に文部科学省が発表した「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」で、特に小学1年生の暴力が目立ち、5倍に増えたと発表がありました。過去6年間等の相対関係で言っているのですが、暴力に関する見方、考え方が変わってきたからで、現場の教員がここ数年、児童間の暴力行為などの把握を積極化させている傾向も件数の増加につながったとみていますが、先生を殴ったりする行為が見られるのが、今の子どもたちが変わった部分なのかと、ひとつあげられています。また、学力調査の都道府県別の数値との関係で、学力上位の県の方が問題がないという評論家もいます。では、石川県ではどうなのか、穴水町ではどうなのか、学校サイドの分析を待ちたいです。

先日9月1日の県教委連理事会の中で問題になった件が2点あります。

1点目に、10月16日開催の石川県教育委員会連合会の大会の件です。どこの分科会の、どのテーマに参加するかで、テーマが決まるということです。皆さん、よくお考えになってテーマをお選びください。2点目に、新教育長制度になると、職務代理者の人選の仕方をどうするのか、現在は教育委員の中から人選していますが、呼び方はどうするのか、教育長の代理だけでないから今までのやり方で教育委員の中から選んでいいのか、最終的な答えはエンドレスでした。これからの穴水町の教育委員会のあり方の課題だと思います。

次に、児童生徒達の運動会の件です。組体操が大型化している問題ですが、穴水町でも3校ともにある組体操に、教育的に細やかな配慮のうえ、どの児童生徒にも充実した達成感が持てるような、運動会の中の組体操にしていきたいと思えます。

本日は、先日から行われた教職員並びにPTAとの懇談会について、まとめていきたいと思えます。

－ 教育長報告 －

主に、9月の議会定例会について報告します。

9月9日に9月の議会定例会が開会しました。その中の人事案件を通して、教育委員会に係る教育委員の任命についての提案に、引き続き不二井委員が指名されました。

一般質問では、〔夏休み中の生活指導はどうなっているのか〕ということで、局長から夏季休業中指導計画のについての説明をいたしました。事前指導や後半の宿題指導等を答弁いたしました。

翌日の教育民生常任委員会では、教科書採択についての質問がありました。他の市町で社会科の教科書の採択について新聞報道等がありましたので、私から、奥能登二市二町で奥能登教科書採択協議会を立ち上げて、事前調査等を行い採択している状況の説明をいたしました。町単独ではどうなのかということで、その時は採択協議会を離脱し、文部科学省の指導を受け採択することができるが、その場合は、町で代金を持たなければならないと話し、了解を得ました。

9月19日に穴水小学校の運動会があり、大変良い天気にも恵まれ行うことができました。しかしその

裏には、保護者や教職員が早朝からグラウンドの水取りをして対応したということです。

明日は穴水中学校、明後日は向洋小学校の運動会です。穴水中学校は午前6時にするか否かメール連絡があります。明後日は大丈夫そうですね。

行事予定にもありますが、来月10月6日に中学生議会がありますので、お時間が許されましたら、傍聴いただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

10月7日には県庁で県教育委員会の学力向上フォーラムがあり、二市二町から拠点校に指定されている学校4校が発表し、穴水町からは穴水中学校が発表します。学力向上組織等体制作りということで、研究主任の岡本先生が社会をメインに、チーム学校でどんな取り組みをしているのかを発表します。

また、11月1日には奥能登タウンミーティングがあり、こちらは穴水中学校の〔レッツ楽習〕の取り組みを坂本先生が発表し、最終チェックの段階に入りました。

諸橋委員長 委員の皆さん、何かありませんか。

教科書採択について、議員さんたちはどういう考え方ですか。

教 育 長 あまり詳しくはないので、採択の教科書展示もしていること等を話しました。

— 議事 —

事 務 局 長 議案第11号について説明

諸橋委員長 このクラスは何人になりましたか。

朝 倉 係 長 4人です。

諸橋委員長 支援員さんの数は大丈夫ですか。

朝 倉 係 長 交流の時間によって、調整しています。

(途中省略)

諸橋委員長 引き続き対応いただき、またこの席でご報告願います。

事 務 局 長 報告第37号について説明

諸橋委員長 委員の皆さん、いかがですか。

少しでも援助が足しになると良いかと思えます。

事 務 局 長 協議第10号について説明

朝 倉 係 長 協議第10号について補足説明

(途中省略)

諸橋委員長 総括的にご意見はございませんか。
では、その他です。

(途中省略)

諸橋委員長 では次に、県市町教育委員会連合会研究大会の参加について。

荒木次長 県市町教育委員会連合会研究大会について説明
今回はご都合の悪い方が多いですが、分科会の希望をお願いいたします。

宮下委員 では、Bの1に参加します。

諸橋委員長 事務局は。

荒木次長 私は、Cの1に参加します。

諸橋委員長 では、次をお願いいたします。

朝倉係長 15ページをご覧ください。指導主事要請訪問の日程です。

諸橋委員長 次に10月の行事予定です。

荒木次長 10月行事予定について説明

諸橋委員長 10日、全能登新人卓球大会です。委員長の挨拶があります。
25日、少年の主張大会にも、委員長の挨拶があります。その後、講評がありますので、よろしくをお願いいたします。
では、次回の定例教育委員会を決めましょう。

(日程調整)

諸橋委員長 では、10月28日(水)午後2時から行います。
次に、予算要望の学校訪問日の調整ですが。

(日程調整)

諸橋委員長 では、10月19日(月)に3校を回ります。
次に私の方から、お願いいたします。
1つ目に、全能登新人卓球大会の案内文書で、大会長のみで大会長名が無い文面のものがあり

ました。きちんとした文書を出すように、教育委員会から指導の程をよろしく願いました。

2つ目に、PTA 並びに教職員との懇談から、穴水小学校では、学習支援の支援員さんがおられればというお話がありました。5年生のクラスが人数が多いのでね。向洋小学校では、親にかまってもらえない子どもの寂しさを先生方にどう伝えるかというお話が若い先生のグループからありました。穴水中学校では、1年生は学力向上について、2年生は規範意識の向上についてですが、データがはっきりしていて、先生方が頑張っている様子がうかがえました。自己肯定感、自己有用感、自尊感情を育てる、当たり前のことなのですが。2年生は自分の感情を全て吐き出す、相手のことを考えないので、先生方に、小学校で使っているふわふわ言葉を使ってみたらとお話しました。3年生は進路指導についてでした。

宮下委員 私は2年生のグループで、NHK番組で嫌なことをされた時にどうするか、具体的に事例を書いて皆で話し合い対処を考えていくという番組があったので、そのお話をいたしました。

諸橋委員長 学校の中の組織力が重要で、チーム力が組織力に置き換えられると思いますし、3校回ってみて思いました。この組織力がきちんと組まれているところは、生徒指導においても、道徳的な育ちや学力においても、伸びがあるように思いますし、教職員の指導力が、組織力によって教職員も育てているのだと思います。

教育長 継続してやり続けることが一番大切です。体制等に対する対応の仕方が、教職員ばらばらだと、児童生徒に規範意識がなかなか定着しない。大変時間がかかることですが、やり続けることが大切なのです。教職員が心をつにしてやっているかどうかが大変重要で、管理職の指導力が大切となります。

諸橋委員長 北國新聞のデスク日記に、学力に関わって、教員がひとりで動く間違った指導に繋がるおそれがある。組織的な対応が重要で、チームで指導にあたるのが大切と書かれています。

教育長 しかしそこを上から目線で教育委員会が型にはめてこうでなければならぬでは困るのです。基本的なものは一緒なので、そこをきちんとふまえてやれるかどうかで、穴水中学が形が出来つつあるのは、いじめ問題の解決をしたからで、生徒指導や担任だけではだめと言いつつ、皆で取り組むことで、健全な生徒も、先生方は私たちが身体をはって守ってくれる、学校や教室で安心して授業ができるクラス作りが大切です。先生は言い続けなければなりません。やり続けて解決した時に達成感があり、そこからなのです。いじめがあつては学力も伸びません。やり続けること、ずっと言い続けているのですが。

諸橋委員長 皆さん、いかがでしょうか。

PTAの方からは、あまり意見がでませんでしたね。

教育長 そうですね。

穴水小学校の教職員の時に、低学年は挨拶をするが、中高学年は挨拶できないという話が出ていました。

諸橋委員長 リーダーが育たないという話も出ていました。

教 育 長 中学年になると、低学年で指導したからと言わなくなる。
先生は言い続ける

諸橋委員長 委員の皆さん、いかがですか。

原 田 委 員 懇談会は、授業だけ見ているよりも、教職員の皆さんとお互いに理解し合う場となり、大変良かったと思います。
継続することで、本音話が出てくるのではないかと思う。PTAの皆さんとも、研究大会等だけの付き合いでなく、良い場であったと思います。

不二井委員 支援員の採用について。
保護者は支援員の採用まで見ておられて意見が出るということは、今後もこういうことが出てくる会なのだと思います。

宮 下 委 員 本音を聞く場なのですが、管理職が在席していて本音の言葉が出るのかとも思いました。もちろん在席されていてもいいのですが、ふと思いました。

教 育 長 反省点もあってアンケートにしたのですけれどね。

諸橋委員長 なかなか本音は出ませんね。

教 育 長 一般的に言えば先生方はよくやってくれていると思います。もう少し欲を言うと、自ら変わる努力をしないと子ども達も今のアクティブラーニングや学びに対する授業の対応の仕方がまずいと思います。計画訪問の授業を見るとわかります。その認識がまだまだで、日本全国皆同じなのですが、B問題がずっと平均点が40～50点できている。最大の原因はそこにあるのではないかと校長会を通してずっと口をすっぱくして言い続けているのですが直りきらない。でもアクティブラーニングは小学校的にはすでにやっていたのです。ゆとり世代の若い先生方が自分たちが小学校中学校に入らない前に知識の詰め込みでやられた経験をやってA問題だけが上がっていく。学校の中だけでは全てできないのです。福井や秋田が良いのは、家庭教育がしっかりしているのです。家庭の協力がないと児童生徒は育たない。皆で育てましょう、というスタンスでやっていかないと、地域も、家庭も、学校もそれぞれ取り組まないと形ができない。学力に繋がらないということです。

諸橋委員長 私は、グループで意見交換もよいのですが、また、ざっくばらんにということが私たちの目的でもあるのですが、先生方が、こんな思いで授業をしているということや、こんな思いで児童生徒たちと向き合っている等、教員としての立ち位置や姿勢を一人一人から聞いたかったです。その中で多忙感がどこにあるかが伝わってくるように思います。学級経営している或いは授業をしているスタンスを聞いたかったです。継続は力なりで、来年も続けていきましょう。ほかにありませんか。

原 田 委 員 支援員の件ですが、保護者目線で考えると、保護者は勇気を持って発言したのだと思う。難し

いのかとは思いますが、そこをくんで、支援員の契約の仕方を考えていかなければならないと思う。危機感がなければ支援員になるための姿勢や支援の必要な子どもに対して対応しきれていないのではないか。そうしないと、変わりようがないと思います。

諸橋委員長 支援員は、日誌も付けて学校長に提出しています。採用には、仕事に慣れているから採用する、ではマンネリ化しますからね。

教 育 長 採用は、半年契約です。

諸橋委員長 そういうことを、保護者は知らないのです。

教 育 長 なかなか該当者がいないのも事実です。出られない時もあるが、勉強会にも参加していますが、支援の仕方についての研修会を何らかの形で開く必要がありますね。

(途中省略)

諸橋委員長 以上で、定例教育委員会を終わりたいと思います。

以 上

穴水町教育委員会会議規則（昭和 31 年教育委員会規則第 2 号）第 15 条第 2 項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教育委員（教育長）
